



2011年4月 大船渡市三陸町越喜来  
写真提供：三陸に仕事を！プロジェクト

講演会

# 仕事がある。笑顔になれる。

～被災者に「生きがい」をもたらす支援の仕組み  
「キャッシュ・フォー・ワーク」を学ぶ～

東日本大震災では多くの方が仕事を失ってしまいましたが、少しずつ雇用が生まれています。被災者自身が仕事することで社会と繋がり、収入を得られる仕組み「キャッシュ・フォー・ワーク」と、その仕組みを利用した「浜のミサンガ・環」作りプロジェクトを通じて、これからの支援のあり方について考えてみませんか。（「浜のミサンガ・環」の実物展示もあります。）

日時：3月30日（土）14:00～16:00

場所：能代市中央公民館 視聴覚室（2F）

対象：高校生～一般（30名程度） ※参加無料 ★託児あり（要申込）

問い合わせ・参加申込

能代市役所 市民活力推進課 電話：(0185)89-2148 FAX：(0185)89-1770

能代市市民活動支援センター 電話/FAX：(0185)52-0355

※この講座は市民活力推進課と能代市市民活動支援センターとの共同で実施するもので「のしろ市民活動いろは塾番外編」を兼ねて開催いたします

東日本大震災で被災した三陸地方。震災後、男性には瓦礫撤去や工事現場などの仕事ができましたが、女性の仕事はなかなか生まれませんでした。炊き出し当番などはあっても「収入」には結びつかなかったのです。そんな中、浜の女性たちによる漁具を使ったミサンガ作りが始まりました。

ただ支援されるだけでなく、被災者自身が仕事をすることで社会と繋がり、収入を得、元気にそして笑顔になれる仕組み「キャッシュ・フォー・ワーク」と、その仕組みを利用した「浜のミサンガ・環」作りプロジェクトについて、最前線の現場の声をお届けします。

★講演は「けんぽくTV」の協力によりインターネット配信します。  
<http://live.wiwit.jp/official/kenpokutv/index.html>

## 【講師】

しずくいし よしたか  
**零石 吉隆氏**



「三陸に仕事を！プロジェクト」事務局長  
 「浜のミサンガ・環」作りを開始し、沿岸被災地の200人以上を作り手として、16万セット以上、1億円以上のキャッシュ・フォー・ワークを達成。また「いわて三陸復興食堂」の活動にも参加。被災地域内30か所以上で巡回開催を実施。ボランティアニーズ調査、受け入れプログラム発信など被災者と支援者・ボランティアの絆づくりを行っている。

東北博報堂EP室エグゼクティブプロデューサー。

### 【お問い合わせ・お申込先】

能代市役所 市民活力推進課

電話：(0185)89-2148 FAX：(0185)89-1770  
[katsuryoku@city.noshiro.akita.jp](mailto:katsuryoku@city.noshiro.akita.jp)

能代市市民活動支援センター

電話/FAX：(0185)52-0355  
[supportnavi@shirakami.or.jp](mailto:supportnavi@shirakami.or.jp)

## 3/30「仕事がある。笑顔になれる。」参加申込

ふりがな ----- お名前	性別
連絡先  (自宅・職場・携帯・その他 )	年代 ※20代、30代など  代

★託児を申し込む方は下記もご記入ください。(託児申込…3/18(月)まで)

ふりがな ----- お子さんの お名前	性別 男 ・ 女  年齢 歳 カ月
アレルギー等注意事項がありましたらお書きください。	【託児について】 ※未就学児が対象です。 ※おやつ、着替え等ご持参ください。 ※持ち物はお名前を書いてください。